

## 1 自治基本条例に関する報告

### (1) 協働に関する職員アンケートの結果について

#### 「協働に関する職員アンケート調査」

目的：職員の「自治基本条例」及び「協働」に対する認識や考え等を把握するとともに、市民を対象にした「協働意識調査」の結果と比較することで、市民と職員の相違点を探り出し、今後の基礎資料とする。

日程：平成28年2月2日～2月16日

対象：市職員 910人

回答数：584件（回答率64.2%）

### (2) 自治基本条例マンガパンフレットについて

条例の理念をわかりやすく理解してもらうために、マンガパンフレットを作成。

部数：5,000部

作成日：平成28年3月31日

配布：町会・自治会への回覧、市内公共施設への配架、ホームページへの掲載

28年度：市内の小学5年生へ配布予定（5,000部印刷予定）

## 2 平成28年度事業について

平成28年度に協働推進課で予定している事業の計画については、以下のとおりです。市民への啓発方法としてこれまで実施している「自治基本条例フォーラム」の開催方法を中心に、今年度における条例の推進（啓発）方法について、今回の委員会で検討します。（グループワーク）

### ◆平成28年度の開催スケジュール（予定）

- |                |             |                                 |
|----------------|-------------|---------------------------------|
| ・平成28年4月26日（火） | 第3回         | ・28年度事業について<br>・条例の周知啓発について     |
| ・平成28年8月       | 第4回         | ・29年度事業（啓発）について<br>・28年度事業の内容決定 |
| ・平成28年11月      | 第5回         | ・フォーラムの内容確認                     |
| ・平成28年12月      | 自治基本条例フォーラム |                                 |
| ・平成28年2月       | 第6回         |                                 |

### ◆平成28年度事業

#### ●自治基本条例フォーラム

- ※H27：講演（講師：近藤尚己氏、事例発表2団体）、グループトーク
- ・職員向け協働研修会
  - ※H27：講演（講師：松下啓一氏）
  - パネルディスカッション（松下氏、市内外郭団体4名）
- ・マンガパンフレット配布（5,000部）
  - ※H27：町会回覧板（約3,500部）、市内公共施設（約20か所）
- ・まちづくり出前講座「自治基本条例について」
  - ※「出前講座」は、生涯学習課が所管している事業で、市民からの要望があった場合に“講師”（市職員）を派遣するもの。
- ・職員向け協働ガイドブックの作成（案）
  - ※H26.1月に「協働への展望」を作成済み。より実践的な内容とする。

### ◆平成28年度予算

事業名：協働推進事業

【報酬】	・委員報酬	622,000円	（市民委員14名×4回分）
【報償費】	・講師謝礼	400,000円	（職員向け協働研修会 200,000円） （自治基本条例フォーラム 100,000円×2回）
【需用費】	・消耗品費	10,000円	
	・食糧費	28,000円	（推進委員会用、市民集会用お茶）
	・印刷製本費	477,000円	（フォーラムチラシ45,000部、ポスター600部、 マンガパンフレット5,000部）
【役務費】	・郵便料	23,000円	
	・保険料	5000円	
【使用料】	・会場使用料	21,000円	フォーラム会場使用料（文化会館、コンパル）

### 3 条例の周知啓発について

今回も引き続き、自治基本条例を普及・啓発するための方策について検討していきます。前回とは違うメンバーでのグループワークを行います。

前回の内容を踏まえ、すぐに始められる事業や予算がないとできない事業など、様々な意見を募りたいと思います。

#### ・前回の各グループの概要

- 【1グループ】・条例の具体的なイメージが湧かないため、条例を知らない人への啓発は難しいと感じる。
  - ・推進委員会が積極的に事業の企画運営に携わる必要がある。
  - ・インターネットだけでなく、町会や子ども会の集まりで周知していく。
- 【2グループ】・グッズや動画サイトを使うなどして、楽しみながらの啓発。
  - ・条例の理念を体験できる機会の提供。
  - ・推進委員が直接市民に対して説明する。
- 【3グループ】・健康や子育て等の具体的なテーマを扱って、条例の理念を感じてもらう。
  - ・条例制定に関わった人を巻き込んで発信していく。
  - ・さまざまな市民のつながりを作っていく。
- 【4グループ】・条例の認知度は低いですが、理念は大切だと感じている人は多い。
  - ・町会などのさまざまな団体の人が話す機会を設けていったほうが良い。
  - ・「まちづくりカルタ」の作成や江別市「リアルまちづくり大会」等を参考にしているかどうか。

### 4 その他

- ・次回開催 日時：平成28年8月